

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成22年度

長野県野沢温泉村

人口	3,989人	(H23.3.31現在)	実収支	赤字	比率	- %
面積	57.95	km ²	実収支	赤字	比率	- %
人口	2,744,029	千円	実収支	赤字	比率	9.6 %
人口	2,596,106	千円	将来負担	比率	- %	
人口	100,317	千円	市町村	年度	毎	H18 - 2 H19 - 2 H20 - 2 H21 - 2 H22 - 2
人口	1,885,712	千円	標準	財政	規模	
人口	1,986,721	千円	地方	債	現在	

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

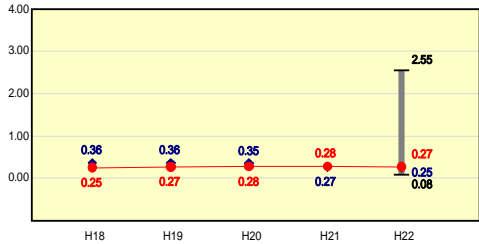
市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づき(実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない)団体については、グラフを表記しない。充て可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。類似団体内平均値は、充て可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.27]

類似団体内順位 14/60 全国平均 0.53 長野県平均 0.42

財政力指数の分析値
ここ数年は、同程度の数値で推移している。今後は、固定資産税の減少により指数の低下が見込まれるが、徴収率の向上を図り、歳入確保に努めることとしている。

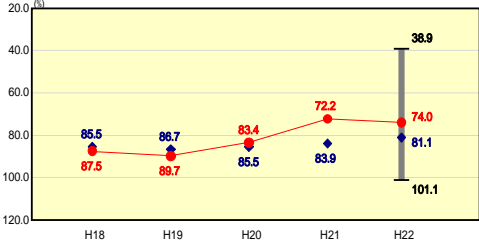


財政構造の弾力性

経常収支比率 [74.0%]

類似団体内順位 14/60 全国平均 89.2 長野県平均 82.7

経常収支比率の分析値
これまで、繰り上げ償還を行った結果、公債費の割合が大きく改善されたことにより平成21年度から大きく改善した。今後は新たな観光施設による費用負担が発生するが、経常経費の削減を図り、数値の悪化とならないよう努める。

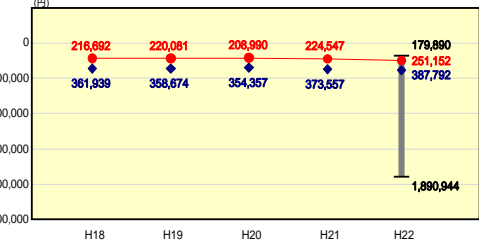


人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [251,152円]

類似団体内順位 11/60 全国平均 114,985 長野県平均 124,369

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析値
類似団体の平均を下回っており、今後も物件費の経常経費削減を図ることとしている。

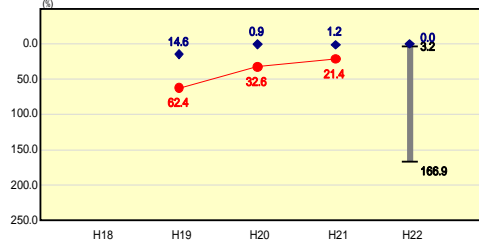


将来負担の状況

将来負担比率 [-%]

類似団体内順位 1/60 全国平均 79.7 長野県平均 40.9

将来負担比率の分析値
現在においては、将来負担比率は0になっている。要因としては、財政調整基金等の積み立てによる充て可能基金の増や、公債費の減少等があげられる。

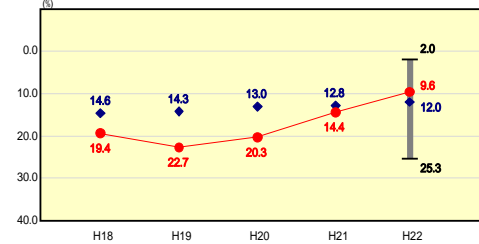


公債費負担の状況

実質公債費比率 [9.6%]

類似団体内順位 26/60 全国平均 10.5 長野県平均 11.8

実質公債費比率の分析値
繰り上げ償還、これまでの新たな起債の抑制により数値が改善されている。今後は、過剰債を活用した事業が多くなることから、財政推計を把握しながら進めていくこととしている。

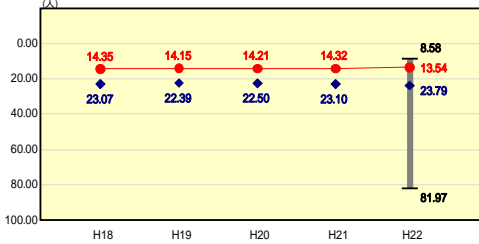


定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [13.54人]

類似団体内順位 4/60 全国平均 7.24 長野県平均 7.86

人口千人当たり職員数の分析値
類似団体をしたまわっており、今後も退職者と採用者の均衡をはかり、適正な職員数を維持することとする。



給与水準 (国との比較)

ラスパイレス指数 [90.6]

類似団体内順位 20/60 全国市平均 98.8 全国町村平均 95.3

ラスパイレス指数の分析値
給与の独自削減(7%)により大きく類似団体を下回っていたが、終了により類似団体と同程度となっている。今後は適正な水準を維持する。

